

【特集】わが国の司法精神療法の展望

【巻頭言】

反応性という視点から、統合失調症を考える	● 青木省三	474
----------------------	--------	-----

【特集】

特集にあたって	● 林 直樹	477
第1部：社会の中の司法精神療法		
序論——わが国の司法精神療法の展望	● 林 直樹	478
治療的司法の法律学的背景と発展の方向	● 指宿 信	482
ドラッグコートは薬物依存症治療の明るい未来を約束するか？ ——その功罪とわが国への導入可能性	● 松本俊彦	488
司法精神医療における治療・社会復帰支援と心理職の人材育成	● 五十嵐禎人	495
第2部：司法処遇を変える精神療法		
制度を使った司法精神療法としてのリフレクティング	● 矢原隆行	501
司法領域における対話的コミュニケーション ——オープン・ダイアログによる再犯予防の可能性にむけて	● 吉川 悟	507
矯正の現場から見る動機づけ面接の可能性——規律と対話のはざままで	● 青木 治	513
医療刑務所における摂食障害治療	● 瀧井正人	519
第3部：地域で生きるための精神療法		
性犯罪をした者への地域における心理社会的な介入と回復支援	● 毛利真弓	525
非行・犯罪に取り組む心理療法——アタッチメントと力動の視点	● 工藤晋平	530
ストーカー犯罪の対応・治療と今後の展望	● 樋口早子・竹田康二・平林直次	536
医療観察法入院処遇における心理社会的療法	● 賀古勇輝	542

【エッセイ】

情状鑑定における心理臨床	● 岡本吉生	548
性犯罪に対する心理支援は何をしているのか——民間カウンセリングの現場から	● 岡村優希	550
現場の看護と CBT を考える——「安心」という土壌を耕し続けること	● 北野 進	552
保護観察における心理社会的アプローチ	● 生島 浩	554
触法発達障害者をどう支援するか	● 藤川洋子	556
ソーシャルワーカーがかかわる、地域での社会復帰支援活動の試み	● 藤田知美	558
司法施設における心理社会的支援の経験と課題	● 堀越 勝	560
CT-R の可能性——刑事施設における「つながり」から	● 武藤みやび	562

【短報】

フリースクールへの通学により精神病症状の改善が得られた児童期発症統合失調症の1症例	● 武田隆綱	565
---	--------	-----

【連載】

精神科診療の見立てと精神療法を、改めて考えてみよう		
第21回 啓蒙思想、ロマン主義とドイツ精神医学⑪——宇宙の人間スピノザ登場Ⅷ	● 原田誠一・神田橋喬治・中尾智博・高木俊介・岸本寛史・滝上紘之・八木剛平	568
20XX 年の臨床批評ファイル		
FILE4 気色	● 尾久守侑	583

[書評]

松隈信一郎著「こころの庭を育てる ポジティブ心理学——支援と育成の現場で使える実践ガイド」	● 須賀英道	591
友田尋子編著「看護師物語——暴力と看護の対話的探求」	● 山本則子	592
金生由紀子著「チック・トゥレット症の理解と支援 ——ライフステージに沿ったケースフォーミュレーションの実際」	● 野中舞子	593
ニコラ・エイペル・ハーシュ著「ピオン：イントロダクション」	● 福本 修	593
M. H. エリクソン著「ミルトン・エリクソン講演録 臨床催眠のダイナミクス ——1958年10月31日 カリフォルニア州パサデナ St. Luke's 病院」	● 大谷 彰	594
ジョン・C・ノークロス, 他著「統合的心理療法のためのスーパービジョン」	● 福山和女	595
末木 新著「シン・自殺論——誰も自殺に追い込まれない社会の創り方」	● 張 賢徳	596
木村敏記念臨床哲学文庫＋日独文化研究所監修「臨床と哲学のあいだ ——木村敏とドイツの現象学・人間学」	● 野間俊一	597
ウィレム・カイケン著「人生のためのマインドフルネス——豊かな人生への12のステップ」	● 佐渡充洋	598
佐藤洋輔, 他編「動機づけ面接入門」	● 藤澤大介	598
高木俊介, 他編著「必携 精神医療保健福祉キーワード事典」	● 辻本哲士	599
斎藤 学著「嗜癖, 神, 性愛——『中・高年ひきこもり』の理解に向けて」	● 山中康裕	600
小森康永, 他著「別の歴史に見合う言葉を見つける——ナラティブ・セラピーの詩学」	● 安達映子	601
〈観劇評〉劇団四季『恋におちたシェイクスピア (Shakespeare in Love)』	● 山中康裕	603
[患者から学ぶ] 「患者から学ぶ」ことをめぐって	● 名取琢自	604

[Review of Books Abroad]

Martin J. Dorahy, Steven N. Gold, John A. O'Neil (Eds) : Dissociation and the Dissociative Disorders : Past, present, future	● 新谷宏伸	607
--	--------	-----

[学会の印象]

第5回日本メンタライゼーション研究会 学術集会	● 嶋田博之	609
日本集団精神療法学会第43回学術大会	● 二之宮正人	610
[かたるしす]	●	612
[てらべいあ] 非言語情報を診療に生かす重要性	● 熊崎博一	506

[追悼]

追悼 大塚義孝先生	● 山中康裕	613
-----------	--------	-----

■ 投稿規定 614 ■ 編集室から 616 ■ お知らせ 500・611 ■ 次号予告 589